



RRIにおける産業データスペースユースケース検討

ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会(RRI) WG1 共同主査 経団連 産業データスペース検討会 委員

入江直彦 ((株)日立製作所)



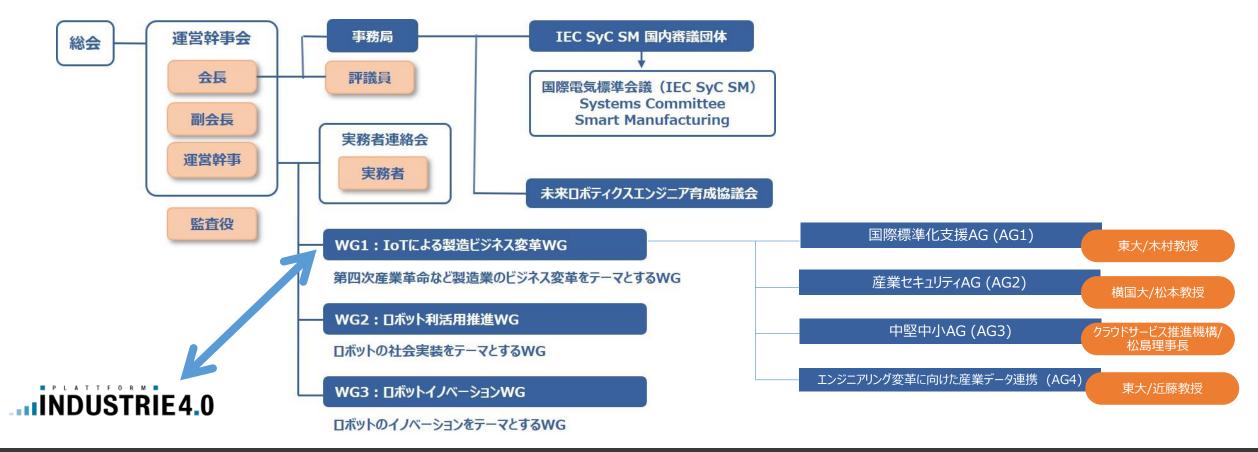
ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会(RRI)のご紹介

● 設立:2015年

● 会長:(株)日立製作所取締役会長東原敏昭 (日本機械工業連合会会長が兼務)

● 会員数: 232社、65団体、20研究機関、13自治体 ('25/9時点)

● 連携団体: ドイツ/Platform Industry4.0





欧州における産業IoT~産業データスペースの経緯

Industrie4.0

'11: Industrie4.0概念提唱 '18: アセット管理シェルとOPC-UA連携開始

'13: Industrie4.0 独国PJ開始

'14: Platform Industrie4.0設立

'16: Industrial Data Space e.V. (後のIDSA) 設立

'17: 産業データスペースのリファレンスアーキテクチャ公表

Industrial Data Space



'18: 共通欧州データスペースに向けた指針発行

'19: Project GAIA-X公表

'20: GAIA-Xテクニカルアーキテクチャ公表



'21: Catena-X開始

'23: Cofinity-X設立

'23: Catena-Xベータフェーズ運用開始

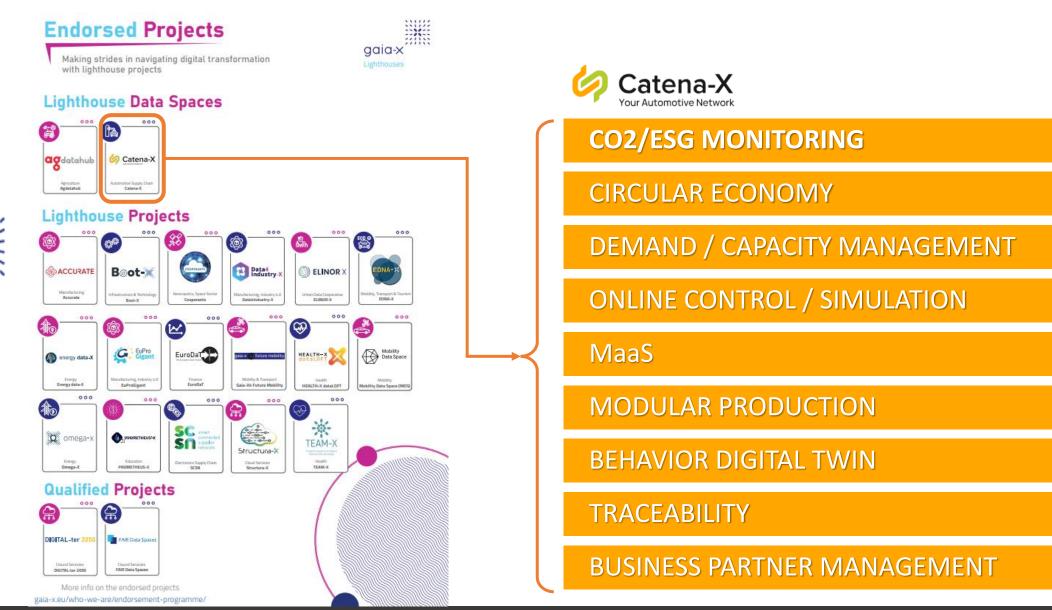
'24: Factory-X発表



gaia-x

欧州データスペースの主要プロジェクト

<u>Lighthouse V14 08.05.2024 (gaia-x.eu)</u> Home | Catena-X





欧州/Factory-Xユースケース ('24 ハノーバメッセ)

11 Use Cases of Factory-X



11 Use Cases for horizontal and vertical data transfer

Integrated Toolchains and Collaborative Engineering

Information Update and Change Service

Collaborative Information Logistics



Condition
Monitoring led
Services



Modular Production



Manufacturing as a Service – On Demand Manufacturing



Autonomous
Operation-as-aService

Traceability



Energy-Consumption and Load Management



Carbon Footprint Management



Circular Economy



Factory-X Kernel & Basis Services





産業データ連携のゴールは?

社会課題の解決

- 脱炭素
- ② 循環社会
- ③ 安心・安全・レジリエント
- 4 国際連携·協調
- ⑤ ヒトに優しい社会

競合 or 両立

企業価値の向上

- ① 生産性向上・コスト削減
- ② 製品競争力維持・向上
- ③ 企業時価総額向上
- ④ 企業の社会的責任
- ⑤ 新市場創生



ドライバ: エンドユーザ、株主、業界、国、世界

<RRI/AG4議論>

- 社会課題の解決の必要性は理解
- 企業価値向上に繋がるかはまだ不明
- 外部ステークホルダのドライブ考慮要

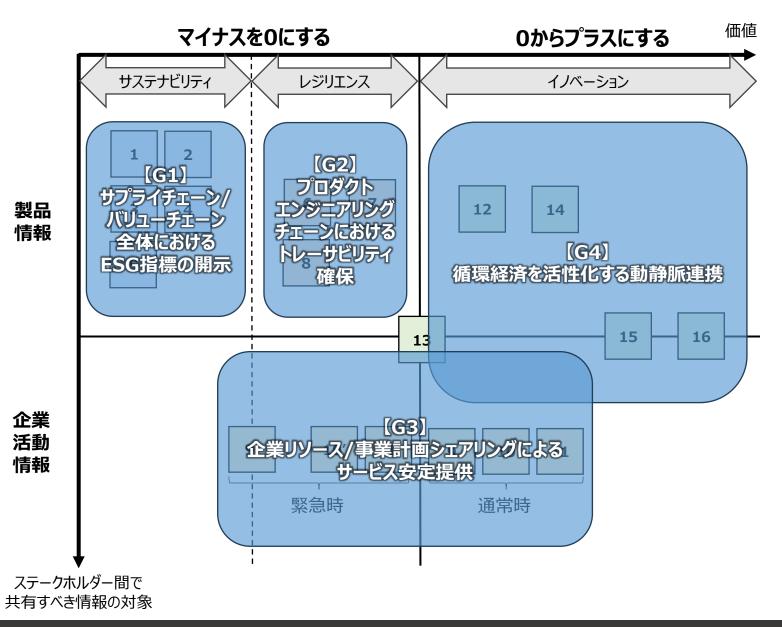
<欧州Catena-X/Manufacturing-X意見>

- 一人で解けない課題を皆で解く
- Win-Winの関係を構築
- オープンかつフランクな議論要



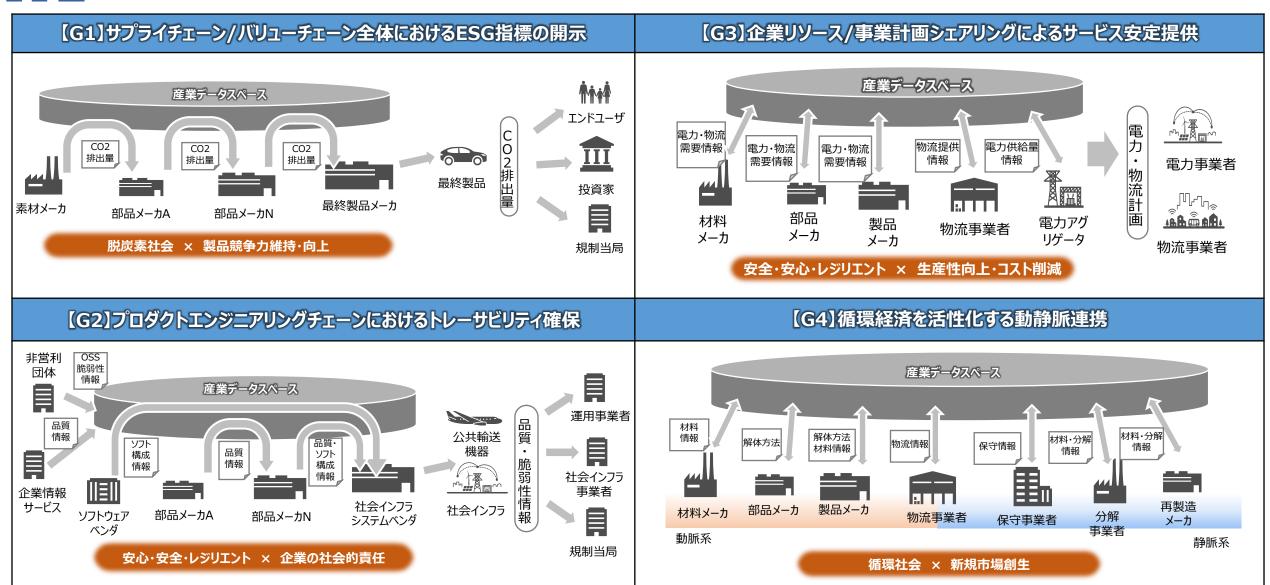
具体的なユースケースの検討

	#	ユースケース素案
G1	1	製造物のESG品質スコアリング
	2	サプライチェーン全体でのカーボンデータ連携
	3	原料調達の倫理スコア可視化
	4	含有化学物質情報伝達
	5	製品含有化学物質の企業間情報共有
G2	6	航空宇宙業界のエンジニアリングデータチェーン
	7	製造物品質トレサビ
	8	脆弱性情報の共有
G3	9	電力需給+蓄電池推進による再生可能エネ使用最大化
	9′	電力需給+蓄電池推進による再生可能エネ使用最大化 (緊急時)
	10	物流の効率化とCO2排出削減,業界課題対応
	10′	物流の効率化とCO2排出削減,業界課題対応(緊急時)
	11	BCP対応 生産・調達余力共有
	11′	BCP対応 生産・調達余力共有(緊急時)
G4	12	製品寿命延長・シェアリングによる環境負荷低減
	13	データスペースの国際相互接続
	14	蓄電池の循環を例にイノベーションの加速化
	15	協調と競争のビジネスモデル設計
	16	データ循環によるエコデザイン活性化





ユースケース サマリ





公開資料

産業データ連携アクショングループ活動報告2023 -

ロボット革命・産業IoT イニシアティブ協議会

エンジニアリング変革に向けた産業データ 連携アクショングループ 活動報告 製造業における企業間データ連携に関する調査・検討 2024年8月 ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会 IoT による産業ビジネス変革 WG (WG1)

2024年版ものづくり白書 (ものづくり基盤技術振興基本法第8条に基づく年次報告) (METI/経済産業省)

令和5年度

ものづくり基盤技術の振興施策

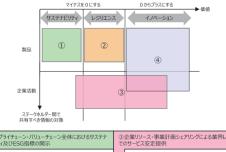
第213回国会(常会)提出

表 523-7 産業データ連携によって達成される共通ゴール

	生産性向上・コスト削減
	製品競争力維持・強化
企業価値の創出	企業時価総額向上
	企業の社会的責任の達成
	新規市場の創出
	脱炭素の実現
	循環社会の実現
社会的・環境的価値の創出	安心・安全/レジリエントな社会の実現
	国際連携・協調
	ヒトに優しい社会の実現

資料: (株) d-strategy,inc 「製造業における企業間データ連携の進展に向けた調査」(2024年3月) から経済産業省作成

図523-8 ユースケースグループの整理





資料: (株) d-strategy,inc「製造業における企業間データ連携の進展に向けた調査」(2024 年3月) から経済産業省作成



産業データスペースをworkさせるためには?





経団連 産業データスペースの構築に向けた提言 ('24/10/15)

経団連:産業データスペースの構築に向けて(2024-10-15)



【出典】ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会 (RRI) 信頼された情報の流通による Society5.0 for SDGs実現 データ利活用 データ利活用 データ収集・管理 データ収集・管理 「データ主権」 参加登録 参加登録 ... の確保 スペース 魅力ある 既存取組み ユースケース創出 の活用 データモデル データモデル アプリケーション 産業 データスペース アジア 欧州データスペース 国際間 データスペース管理層 スペース 国際展開 データ流通 基本部 データ流通層 相互運用性 国レベルの「トラスト基盤」構築 国際間 相互認証 欧州トラスト 参加企業の本人性確認 トラスト基盤 データ自体の改竄・なりすまし防止



経団連 産業データスペースの構築に向けた第2次提言 ('25/5/13)



3. トラスト基盤の整備

- 主体の真正性・実在性を証明するための基盤整備と、各サービスの保証レベルの 定義・可視化要
- トラストサービス の考え方を整理・体系化し、制度・技術・運用の各側面を改善
- 国際的な相互運用性の確保が必要なトラストサービスについて、政府間協議を加速

4. ユースケースの創出

- ビジネスの成長・機会創出といった能動的な観点から、ユースケースの創出・社会実装要
- まずは社会的要請・国際的ニーズの高い環境分野について、トラスト基盤を含む試作化要
- 併せて、国際展開に向け、EUやASEAN等の有志国・地域を巻き込むべき

5. 官民による推進体制の構築

- 産業データスペース群の構築にあたって、官民が緊密に連携・協調する推進体制の構築要
- 経団連はデジタル庁と連携し、「デジタルエコシステム官民協議会」の設置に向け、 具体的な検討を深化